

# 勇気は機関車

第17号平成17年7月7日

作成者 池部 徹

心のクローニング



4年ぶりにトイレ掃除を再開しました。

前職では早朝からトイレ掃除をしている森先輩の姿に感銘し、私も数年トイレ掃除・水打ちをしてきたつもりでしたが…独立後はいつの間にか、できない理由・言い訳を使う名人となっております。

早速 スタート！便器中の水たまりのまわりは汚物が黄色く硬化してなかなか落ちません。

1日目。枝のついた道具で試みましたが全くダメです。

2日目。タワシで磨きましたがまだまだ落ちません。しかし、この時点で素手が問題に接近しました。汚水が顔に飛び

③ ます。3日目は金タワシで挑戦しました。どんどん落ちます。『うれしい！うれしい！』しかし、水底の角の汚物がタワシでは届かずどうしても落ちません。もう一息<sup>2</sup>！結果、無心に…

自分の爪でこさぎ取りました。…初めの経験…その一瞬、本気を感じました。トイレ掃除は誰でも本気になれることを教えてくれます。イエローハットの鍵山相談役は「トイレの汚れに素手で直面すること。これはとりもなおさず、自らの人生・職場の問題に正面から立ち向かっているか？逃げていないか？ということなのです。」と…。そして、きれいになっても毎日毎日磨き続ける。これが大事だと。